

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2025 助成の概要と推薦理由

助成番号 25-1-3

プロジェクト名 長期療養児支援の最前線「院内学級」との連携強化および課題ニーズ調査

団体名 認定特定非営利活動法人 ポケットサポート

代表者名 三好 祐也

所在地 岡山県岡山市

助成額 200 万円

助成期間 2025年6月1日～2026年5月31日

設立年 2011年

URL <https://www.pokesapo.com/>



長期療養の子どもたちにとって病院内に設置されている院内学級の役割は重要である。またしっかりとした学習を提供するためには、教育と医療の連携は欠かすことができない。しかし院内学級担当者は治療や検査予定の把握が難しく、そのため急な欠席で学習進捗に影響が出るケースも多い。さらに病院によっては院内学級の児童数がパンク寸前で、業務過多も課題となっている。このような状況のなか、院内学級担当者同士の交流や悩みを共有する機会もないため、孤軍奮闘しながら日々業務に追われている。担当者同士が互いに事例を共有し合いながら意見交換できる場の必要性は現場からも声があがっている。

この団体は病気を理由に入院もしくは自宅で療養している病弱児に対して、学習および復学支援、当事者間のコミュニティづくりやそれらに関する事業に取り組んでいる。また講演会やイベント開催など啓発活動も積極的に行っている。

今回の助成では、全国の院内学級担当者を対象に、意見交換や事例報告、互いの悩みや課題を共有する機会を提供する。また当日に出された意見やアンケート結果をもとに内容を分析し、院内学級における現状や課題、解決法に関する情報発信を行う。そして内容をパワーポイントにまとめ、新年度の異動で赴任した院内学級担当者に共有していくサイクルを積み重ねていく。これらを通して院内学級担当者のノウハウが蓄積され、縦横のつながりを深める一助となる。さらに団体のNPO設立10周年の節目となる記念フォーラムを開催し、長期療養する子どもを共に支える支援者同士のネットワーク構築を目指す。

本助成を通じて、院内学級担当者が必要としている支援やニーズをしっかりと調査し、現場の改善につながるよう働きかけて欲しい。そして記念フォーラムをきっかけとして、様々な支援団体や関係機関が互いに連携し、長期療養の子どもとその家族により良い支援を届けていくことを期待したい。